



2017年7月6日発行 会報第888号

今週のプログラム

(2017年7月6日 第888回例会)

「会長・幹事就任挨拶」

「優良出席表彰」

水本会長

山本友亮幹事

次週のプログラム

(2017年7月13日 第889回例会)

「委員会活動方針 (クラブ奉仕/国際奉仕)」

木下吉宏会員

岸上委員長

第887回例会 (2017年6月29日) の記録

<会長の時間>

黒川 彰 夫

今日で私の「会長の時間」は終了いたします。昨年7月7日の第844回例会が第1回目でした。今日は第887回例会ですので、例会の大切な時間を44回も使わせて頂いたこととなります。

愚痴っぽいことも多々申し上げましたが、会員の皆様におかれましては嫌な顔一つせずにお聴き下さいまして、本当にありがとうございました。

先週の「今年度の活動総括アセンブリー」では、私なりの一年間の総括を致しました。そこでは、木下健治氏という極めて有能な幹事と心温かい会員に支えられ、難局を乗り越えることが出来たという感謝の気持ちを述べさせて頂きました。ここでも、再び全ての会員に厚く御礼申し上げますが、後の「会長・幹事のご挨拶」では、もう少し詳細に述べたいと思っています。

2016-17年度の一年間は私にとりまして決して長くは感じませんでした(年齢的なものかも知れません)。しかし、様々な観点から千里メイプルロータリークラブにとって試練の時を迎えているように感じております。一つは2回目の会長が続くことで、この現象は尋常なことではなく、決して望ましいことではありません。今日バトンタッチする次期会長の水本氏も二回目です。私が積み残した課題は山のようにありますので、大変な一年になるかも知れません。これを解決する意味でも、今「会員増強」を真剣に考えなければなりません。これはクラブの存亡に係わることと危機意識を持っています。ただ、一方で忘れてならないのは、大きな組織に翻弄されて見失いがちなことですが、目立たない小さなことでも必要な奉仕活動には、今までと同様に細くても長く続けていくことに、当クラブらしさがあるということです。その点には誇りを持っています。

いずれにしましても、来年度は「創立20周年記念」という周年行事がありますので、私たち全会員が一丸となってあらゆる面で協力していかなければなりません。

2017-2018年度会長である水本 徹会員、宜しくお願い申し上げます。

<お客様> 鄭 珉贊

<出席報告> 松田親男 出席担当

会員数（内出席免除会員 3 名） 23 名
本日の出席者数
（内免除会員 1 名、名誉会員 0 名） 19 名
本日の出席率 90.48 %
前々回 6 月 15 日の修正出席率 90.48 %

<ロータリーソング> 全会員
限りなき道ロータリー

<ピアノ演奏> 近藤美里さん
1、ハナミズキ
2、めぐり逢い
3、この広い野原いっぱい
4、今日の日はさようなら

<幹事報告> 木下健治 幹事

- 1 本日、次年度第 1 四半期の会費請求書を皆様のメールボックスに配布致しました。
お振り込みは 7 月 1 日以降によりしくお願い致します。
（明日 6 月 30 日に振り込まれますと、会計処理がややこしくなります）
- 2 次週例会終了後、次年度の理事会と 20 周年記念委員会を開催しますので、ご担当の方は出席をよろしくお願い致します。

< S A A 報告 > 岸上和典 S A A

*スマイルボックス

黒川会長 一年間ありがとうございました。
藤田会員 水本会長、山本友亮幹事、7 月より宜しく申し上げます。
松田会員 理事、役員、委員の皆様、ご苦労様でした。
西本（明）会員 黒川会長、ごくろう様でした。
柳原会員 タコつれてます。
相原会員 黒川会長ありがとう。
小山会員 楽しい 7 年間でありがとうございました。
コメントなし 山下会員

*ロータリー財団

黒川会長 一年は「あつという間」ではありません。
藤田会員 最終例会、7 月よりロータリー財団担当です。皆様よろしく申し上げます。
柳原会員 これから忙しくなります。
西本（詩）会員 ここに来られる喜びをしみじみ感じております。
柳原会員 木下幹事ごくろうさまでした。
小山会員 黒川会長、木下幹事はじめ皆様大変お世話になりました。
コメントなし 山下会員・高尾会員・山田会員

*米山記念奨学会

黒川会長 皆様、本当にありがとう。

藤田会員 小山会員、お世話になりました。

柳原会員 黒川会長ごくろうさまでした。

小山会員 ジョン君来年3月の学位取得の為、研究に専念して下さい。

コメントなし 山下会員・高尾会員

*ラオス基金

黒川会長 ラオスに行きますよ！！

木下（健）幹事 黒川会長、一年間ありがとうございました。

水本会員 いよいよ最終日、黒川会長、木下（健）幹事一年間有難うございました&お疲れ様！

藤田会員 親睦委員会の皆様、一年間ありがとうございました。

西本（詩）会員 元気になれたことに心から感謝しつつ

村田会員 黒川会長、山本幹事、お疲れ様でした、一年、有難うございました。

小山会員 皆様、長い間お世話になりました、ありがとうございました。

コメントなし 山下会員・西本（明）会員・高尾会員

*メイプル基金

黒川会長 水本さんがんばれ！！

木下（健）幹事 皆様、一年間ありがとうございました。

藤田会員 黒川会長、木下健治幹事、一年間ありがとうございました。

山本（友）会員 会長、幹事一年間おつかれさまでした、ありがとうございました。

高尾会員 黒川会長、木下健治幹事一年間ご苦労様でした。

西本（詩）会員 ご心配をおかけしました、お陰様で大分よくなりました。

山田会員 黒川会長、ケンちゃん幹事本当におつかれさまでした。

相原会員 木下幹事ありがとう。

小山会員 千里メイプルロータリークラブの益々の発展を祈念しております。

コメントなし 山下会員・西本（明）会員

2016-2017 年度 会長・幹事挨拶「二回目の会長を終えて」

会長 黒川彰夫

二回目の会長をお引き受けした時には、「私たちのクラブは全国平均から見ても小さなクラブですが、お互いが家族のような付き合いができ、強い絆が醸し出す好い雰囲気を持ったクラブです。」と自負し、会員数23名でスタートしました。しかし、次年度には21名に減少してバトンタッチしてしまいます。これは、如何なる理由があれ専ら会長の力量不足と猛省している次第です。さて、昨年7月の年初に述べた「会長の方針」に従って、回顧したいと考えます。

【地区との関係】の項では、「20 数人の小さなクラブが 100 人を超す巨大クラブの考えに追随するのが難しい面も数多あるので、無理をしないでクラブの身の丈に合った活動を実施して行きたいと考えています」と述べました。忌憚ない意見を述べますならば、残念ながら前回会長の時代に比して、事務的で大らかさを欠いた地区を感じました。

【クラブの主たる奉仕活動】の項では、伝統ともなっている「ラオス」における国際奉仕と「福島」における社会奉仕だと述べました。今年度は、山本加奈子氏に同行して「ラオス農村地域の学校保健支援」のため、岸上会員、松田会員、藤田会員の3名が現地視察し、報告会も開いてくれました。一方、福島の除染活動支援が実践できず心残りです。

【会員の増強について】の項では、「真の会員増強を真剣に考えよう」「もう一度、増強委員会で検討して頂きたい」と訴えましたが、残念ながら不発に終わりました。

会員減少という結果となりましたが、柳原健治氏の復帰と西本会員夫人の西本詩子氏の入会は嬉しい出来事でした。2017-18 年度は会員数 21 名でのスタートとなります。

【卓話について】多くの会員が、豊かなひと時のための卓話に努力をして頂きましたが、残念ながら欠席者の目立つ例会が多くみられました。今後の課題であると思われました。

【特別例会について】「お月見例会」「クリスマス例会」「新年例会」「移動例会」「創立記念例会」が、藤田委員長をはじめとした親睦委員会の方々に実行して頂きました。特別例会に参加頂いたお客様の中から、一人でも入会者が出ることを期待しております。

【追加事項】今回から、年間皆出席者の表彰を復活させました。今後も出席者の表彰を実施されることを望みます。次に、重要な追加事項は、IM2 組のガバナー補佐として水島洋会員を輩出したことです。水島会員に対して深甚なる敬意を表したいと考えます。

【まとめ】

最後に、クラブの存亡に係わる大きな課題として「会員減少」に対する危機意識と二回目会長の常態化の問題を挙げておきます。次期会長の水本徹会員も二回目であり大変でしょうが、私たちは一丸となって協力しなければなりません。一方、地区などの大きな力の中で見失いがちなことですが、必要な小さな活動には真摯に向き合い、細くとも長く続けていくことに、当クラブの誇りがあるものと考えます。

攔筆する前に述べるべきことは、極めて有能な幹事である木下健治氏の強力な援助があってこそ、会長を務めることが出来たことを心より感謝申し上げます。

幹事退任挨拶

木下健治

今回 2 回目の幹事をさせて頂きました。なかなか会員の皆様のお役に立てたかどうかはわかりませんが、2 回目ということである程度ですが流れがわかっていたので、まだ自分自身としてはやりやすかったと思います。ただ、気軽にできる役職ではないので、黒川会長から依頼があった時から、他のいくつかの団体で役を引き受けていましたが、それをほとんど断り、自分自身万全の体制で今年の幹事の役職に集中できるようにしました。その証拠に今年初めてのホームクラブ皆出席でした。毎年 4 月中旬の木金土にある MDRT 日本会大会、6 月の世界大会の時はどうしても欠席しないといけないかと思っていましたが、4 月は親睦の移動例会で土曜日になったり、世界大会の時はちょうど休会日でした。本当にラッキーでした。

年間振り返ると、まず最初の大きな仕事は「クラブの現況」の製作でした。皆様のご協力により、早めに原稿も提出して頂きましたが、校正にやはり時間がかかり、ギリギリになってしまったことは申し訳ありませんでした。理事会も臨時を入れると合計 17 回開催しましたが、大きな問題もなく、無事に終えてほっとしております。途中からは創立 20 周年記念委員会を理事会後に開催するようになり、一つのことに向かって皆一丸となって進んでいくことの楽しさを感じるようになりました。ここが千里メイプル RC のすごいところだと思います。一丸となって行くんです。こちらの議事・進行は記録副委員長として引き続き進めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

親睦活動も藤田委員長に毎回趣向を凝らして、楽しい企画をして頂いたことに感謝しております。しかし、私がお客さんを連れて来れたのが、お月見例会の時だけだったことが心残りです。

今年度一番の行事だったラオス訪問も年度末でしかも業界が大きく変わる時でしたので、さすがに行きませんでした。岸上会員、松田会員、藤田会員のお話を聞いていると、次回はぜひ行きたいと思いました。

何よりも残念だったことは、私にとっては雲の上の存在だった中西会員、岡部会員が相次いで退会されたことです。こればかりは仕方のないことですが、やはり寂しい限りです。そして今日で退会される小山会員も本当に残念です。皆さん、名誉会員としてこれからも少しでもクラブに顔を出して頂ければと思います。しかしながら、柳原会員の復帰や西本詩子会員の入会は嬉しい限りで、クラブの雰囲気もぱっと明るくなったと思います。

今回幹事として、通り一遍のことしかできず、新しいことや次につながることもできなかったのも、果たして黒川会長の補佐役として任務を全うできたかどうかは甚だ疑問ですが、自分自身としては皆出席できましたし、おかげさまでクラブに対する帰属意識はより深くなったと思います。3 回目の幹事もありそうですが、その時も職務を全うできるようにしていきたいと思います。1 年間本当に皆様のご協力のおかげで何とかやってこれました。本当にありがとうございました。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

(担当 山本雅之)